



2021年12月24日発行  
通算 第225号

会員だより 2022年  
1月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり  
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103  
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp  
<http://hanamidori.sakura.ne.jp/>



# あけましておめでとうございます

## 本年もどうぞよろしく お願い申し上げます



新年にあたり、今年度の活動で目安としておりました「SDGs」について、当会の活動との関係性を下記のようなパネル案にしてみました。今後、活動の振り返りの中で、皆様のご意見もいただきながら、ブラッシュアップしていきたいと思っております。日々の活動の中で、こうしたことを意識して取り組むことで、活動の意義をより強く感じていただけたら、と思っています。少し大きく印刷したものを同封していますので、ご覧ください。

### OTAの花とみどりと SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり〜花とみどりの活動を通してできること

**3** すべての人に健康と福祉を

花とみどりで心からの健康づくり

みどりの中だと何をしても心地よく健やか

**5** ジェンダー平等を實現しよう

誰もが同じ立場でできるときにできることで輝ける場づくり

大人も子どもも、男性も女性も、誰にもなにかしらできることがあり、力を出し合える

**10** 人や国の不平等をなくそう

まちの人とみどりを見守る便利屋さん

お庭の困りごとを解決しながらコミュニケーションも大事に

**16** 平和と公正をすべての人に

環境にやさしい技術使って応援

「都会で炭焼きプロジェクト」を応援しています

**4** 質の高い教育をみんなに

植物や生き物から生きる力を学び合う

生きものたちから学ぶ事は、とても多いのです

**8** 働きがいも経済成長も

こんなまちに暮らしたい 想いが原動力

みなで互いの活動を称え合い、認め合い、ともに進みます

**14** 海の豊かさを守ろう

海に近いまちだからまずは脱プラ

エコバッグもたこあげも脱プラスチックの第一歩

**15** 陸の豊かさも守ろう

大地を健康に 植物を健康に

区民農園での堆肥づくり

**13** 気候変動に具体的な対策を

多年草植栽で気候変動に強い景観づくり

ちょっと地味かもだけど「いつもきれいな植栽」を目指します

**17** パートナリシップで目標を達成しよう

人と人、人とまちを花とみどりでつなぐ

パークミーティングでガイド

ふれあいパークで講座

イベントでみどりの啓発

## みどりのイベント&amp;みどりの縁側コラボ企画

## 「縁側マーケット」 11月28日(日) みどりの縁側テラス前

2年間、コロナ禍でイベントが一つも開催されておられません。11月28日は、待ちに待った花苗販売が、みどりの縁側とみどりのイベントチームのコラボにより開催されました。気持ちよく晴れ、北風強く寒かったのですが、紅葉がなんときれい

なことでしょうか！客足は、午前中お年寄りや子連れの母親たちが多く、多肉植物にも興味を示し、準備は少なめでしたがよく売れました。スタッフ参加者も、久しぶりに楽しい時を過ごしました。

(堀崎英孝)



## 第2回 歴史と花のまち歩き 12月3日(金) ガイド：田ノ倉 美保子 氏(大岡山・千束地区まちづくり協議会)

行程：大田区立勝海舟記念館→洗足池周辺→東京工業大学(大岡山キャンパス)



等身大の海舟と背比べ



海舟の墓所へ



まず勝海舟記念館に集合。開館2周年で「交差する主従 慶喜と海舟」の特別展が行われていました。幕末から明治にかけて、主従関係が入れ替わった二人の交流を、時々事柄の説明と肖像写真でパネル展示されていました。海舟に対して心穏やかで無かった慶喜が、海舟のとりなしで朝敵の汚名を返上した後の澄み切った表情に見入ってしまいました。

記念館を出て、海舟夫妻の墓所、西郷隆盛留魂詩碑、徳富蘇峰詩碑を見学。夫妻の墓所に続く参道の両側に植えられた紅葉が赤く照り映えて見頃でした。洗足池にかかる木橋を渡り、桜山、清水窪涌水路、千束谷を経て黄色く色づく

銀杏並木のある東京工業大学構内まで、海拔20メートルの湖面から36メートルの武蔵野台地の高低差を体感しながら散策しました。

構内の歴史的建造物の外観を見ながら百年記念館の博物館に特別許可を得て入館。同校卒業生の重要無形文化財保持者である濱田庄司、河井寛次郎、島岡達三等の陶器、芹澤銈介のカレンダーなどのコレクションも鑑賞できました。田ノ倉氏の丁寧なご説明と資料の提示により、寒村から別荘地・田園都市・学園都市として発展してきた地域の歴史の痕跡散策を楽しむことができました。

(小澤由美子)

## 第213回せせらぎ園芸セミナー

## 「お正月の縁起植物」 講師：浦辺 冬子 氏 12月5日(日)田園調布せせらぎ館

213回目となるせせらぎ園芸セミナーは、11月に続いて日本家庭園芸普及協会でご活躍の浦辺先生。今回は「お正月の縁起植物」を学びました。

元旦のいわれや、大昔一年の暦は米作りが中心で春が年の初め秋が終わりであった事、代表的なマツ・タケに始まりセンリョウ、マンリョウ、カラタチバナの百両、ヤブコウジの十両と興味深いものでした。

まど・みちお著「百年日記」に自然、殊の外植物を礼賛していますが、浦辺先生の植物に寄せる思いの深さも同一であると感じました。

ご用意してくださった竹の花器はなんと先生の手作り！「歳神様の目印となる門松は手を洗い、改まった心でお作りください。」と言うメッセージに、日頃手抜き略式生活に甘んじていた私はハツとしました。

また、私たち高齢者に交じって小学生が新風を運んでくれました。学校の宿題だった植物の種まきをお父様とした事が、お父様がNPOの仲間入りするきっかけとなつたとか。浦辺先生も、目を輝かせた次代の少女を大歓迎なさいました。私たちに希望を抱かせるものでした。

(松田孝子)

講師：浦辺冬子氏  
(日本家庭園芸普及協会)

## オンライン園芸雑談会

### 「ふれあいパーク活動について」12月15日(水)

12月のオンラインでは、ふれあいパーク活動について雑談会を行いました。右に貼り付けた各公園の直近の写真を紹介しながら、どんな活動をしているか、今後どんなことをしていきたいか、ざっくばらんにお話ししました。

ふれあいパーク活動では、花壇は必須ではないのですが、当会とつながりのある団体は皆さん、花を育てることを通して、地域がつながることを目指しておられます。次回1月19日(水)のオンライン園芸講座では、そうした取り組み＝「コミュニティガーデン」に施策として取り組んでいる江東区の事例を、東方陽子さんからご紹介いただきます。



「いきちか花壇プロジェクト」



「西蒲田五丁目青葉児童公園」

「桐里梅田 BASE」

「きまもり」



## みどりの縁側・今月の活動

### ★ネイチャーウォーク「紅葉を見て歩こう」12月4日(土)

平和の森公園にはたくさんの種類の木があるのは、以前に参加したネイチャーウォークで知りましたが、今回のテーマは紅葉です。青々としていた木々がどのように変化するのかとても楽しみでした。

当日はお天気も良く、12月とは思えないような小春日和のとても穏やかな日でした。それも手伝ったのか、想像を超える紅葉の美しさでした。紅葉、黄葉、褐葉…自然の作り出す色合いの美しさに心が良い“気”でいっぱいとなりました。コロナ禍で旅行できなくても、この紅葉で充分堪能できたなと思いました。

『葉が落ちる』ということは、不要なものを捨てて新たな命を育む為の準備という意味合いです。コロナ禍で時間ができた時に、本当に自分に必要なものは何か、そして様々な

事柄を見直してこの状況下でどうやって過ごしていくか。私たちもコロナ禍の前の”葉“を落として、新たな世界で活躍していける為の準備をしていきましょう！

(金澤利奈)



### ★森の親子学級♪ 12月12日(日) 講師:中安 敬子 氏

(環境省環境カウンセラー、NPO法人マザーツリー自然学校代表)



大人気♪ 落ち葉プール



匂いのある実を探そう

毎年恒例のイベント「森の親子学級」。風もなくポカポカ陽気の中、10組の親子が参加し、こちらも毎年大人気プログラム[落ち葉プール]を楽しみました。[落ち葉プール]は、カメラマンに徹していた大人たちが、このプログラムのリーダー「ぼぼさん」こと、中安敬子さんの誘いに一人二人とプールの飛び込みに挑み始め、遂には大人も子どもになってしまい、一気に大人と子どもの垣根が消え去る一瞬を作る遊びです。子どもたちと森での次の遊びは匂いのある実と葉っぱ探し。この探し物は、実は大田区の木「クスノキ」。みんなで見つけては、匂いを嗅いで「あった！」と大喜び。最後にぼぼさんから大きなドングリの実をプレゼントされ、それぞれペンダントを親子で作って首に下げて嬉しい笑顔で解散しました。毎年、ぼぼさんのアイデア満載プログラムに感動します。



匂いのある実  
(クスノキ)



ドングリのペンダント完成！



## 黒鶴稲荷野草レスキュープロジェクト③

### 講習会&移植作業～みどりと生き物のつながりを学ぼう

11月28日（日）講師：佐々木 知幸 氏（樹木医・造園家）

今年の夏に中央5丁目にある黒鶴稲荷神社の森が壊されることになり、その前に有志で自生の植物を救出しました。地域の方々にも貴重な自然環境であったことを知ってほしいという思いから、ふれあいパーク「きまもり」と当会の共催で、体験型の講座を11月28日に開催し、近隣住民と会員の15名が参加しました。

豊かな生態系が存在する自然の森が形成されるまでに何百年、何千年という長い時間が必要です。黒鶴稲荷神社の森は少なくとも江戸時代からすでに森として存在し、周辺が開発されてゆく中でも貴重な「自然」が守られてきました。今回保護できた植物は森の生態系で見るとほんの一部でしかありませんが、少しでも守ることができ、

伝えていけることに新たな価値があると樹木医の佐々木知幸さんが講座でお話していました。

実際に梅田第二児童公園に移植し、「今まで当たり前身近にあった環境がこんなに豊かな自然だったとは知らなかった」という参加者の声もあり、有意義な時間となりました。

神社の協力で解体したお社の瓦をいただいたので、土留めなど花壇に活用し、黒鶴稲荷神社の歴史を継承するデザインとなっています。

春になり、夏になり、数年経ってどんどん変化していく花壇を見守るのが楽しみです。定期的に植物観察会なども企画していきたいと思えます。

（企画事業部 担当：内田亜紀）



← 解体したお社の瓦を土留めとして再利用



移植作業後の公園の様子

## コロナ禍における黄色いジャンパー着用について

当面着用を禁止としていた当会の黄色いジャンパーについて、寒くなってきたこともあり「着用してもよいか？」という問合せがあります。しかし、新たな変異株の感染拡大が危惧される中で、区民の方々に刺激しないためにも目立つ黄色いジャンパーの着用は控えた方がよいと判断し、駅前、公園などの**一般の方の通行や利用がある活動場所では、引き続き、着用禁止**とさせていただきます。

皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



### <事務局より>

- ◆2021年もいよいよ残りわずかとなりました。体調に十分気をつけて活動にご参加ください。
- ◆**年末年始、事務局は休業致します（12/29～1/4）**。緊急連絡先は活動カレンダーをご参照ください。

### <今月の会員だよりの同封物>

- ◆「OTAの花とみどり×SDGs」パネル案
- ◆活動カレンダー
- ◆「みどりの縁側」だよりの
- ◆「ハーブ入門講座」チラシ
- ◆「花とみどりのつどい」チラシ
- ◆「田園調布グリーンフェスタ」チラシ（2種）
- ◆活動アンケート（会員のみ）
- ◆「令和3年度事業計画申請書」（運営責任者のみ）
- ◆「令和4年度事業計画申請書」（会員のみ/用紙をPCデータで必要な方は事務局までメールでお知らせください）